

eSOL TRINITY Cloud 利用規約

イーソルトリニティ株式会社(第1条第1項参照、以下、「TRINITY」といいます。)は、eSOL TRINITY Cloud の利用について、以下の通り「eSOL TRINITY Cloud 利用規約」(以下、「本規約」といいます。)を定めます。本規約は、ユーザー(第1条第6項参照。以下、同じ。)と TRINITY との間で、TRINITY が提供するソフトウェア製品に関するライセンス契約(当該契約書において eSOL TRINITY Cloud を利用する旨が規定されているもの。)が合意、成立したことをもって、効力を生じます。

ユーザーには、eSOL TRINITY Cloud をご利用いただくにあたり、本規約のすべての条項にご承諾いただく必要があります。必ず、本規約の内容をご確認ください。

第1条 (定義)

1. 「TRINITY」とは、イーソルトリニティ株式会社をいいます。
2. 「AWS」とは、Amazon Web Services, Inc.をいいます。
3. 「eSOL TRINITY Cloud」とは、AWS が提供するクラウドサービス(Amazon S3、Amazon EC2、Amazon RDS)を利用し、TRINITY が提供するクラウドサービスをいいます。
4. 「TRINITY 製品」とは、別途 TRINITY から提供されるソフトウェアのライセンス製品をいいます。
5. 「本サービス」とは、eSOL TRINITY Cloud 上で TRINITY 製品が利用できるサービスをいいます。
6. 「ユーザー」とは、TRINITY と TRINITY 製品に関するライセンス契約を締結し、本規約に同意、承諾した個人または団体をいいます。
7. 「本データ」とは、TRINITY 製品を用いてユーザー自らが開発、運用しているデータをいいます。

第2条 (本サービスの内容)

TRINITY は、eSOL TRINITY Cloud 上で、TRINITY 製品を最適に稼働させるクラウド環境を提供します。ユーザーは、本規約および TRINITY から提供される各種ユーザーマニュアルに従い、TRINITY 製品を使用する目的のみ、eSOL TRINITY Cloud を利用することができます。

第3条 (変更)

TRINITY は、AWS が提供するクラウドサービスの内容の変更に伴い、いつでも本規約および 本サービス内容のあらゆる部分について、変更、中止、廃止、および削除ができるものとします。

ただし、TRINITY は本サービスの内容の重要な変更あるいは中止を行う場合、ユーザーに対して 45 日前までに通知するものとします。

第4条 (セキュリティ)

eSOL TRINITY Cloud のセキュリティについては、AWS カスタマーアグリーメントをご参照ください。

また、TRINITY は、ISO 27001(情報セキュリティ)に相当する内容で、社内セキュリティを運用し、社員教育を実施しています。

第5条 (プライバシー)

TRINITY は個人情報保護方針を設けております。詳細につきましては、TRINITY のホームページ(<http://www.esol-trinity.co.jp/privacy/>)をご参照ください。

第6条（ユーザーの責任）

ユーザーは、本データの内容、維持、使用およびバックアップについて、すべて単独で責任を負います。

ユーザーは、本規約の他、適用される各種法令および以下に挙げる AWS の規約を遵守するものとします。

- ・AWS カスタマーアグリーメント
- ・Amazon EC2 サービスレベルアグリーメント
- ・Amazon RDS サービスレベルアグリーメント

第7条（TRINITY の保証および責任の限定）

1. 保証

TRINITY は、本サービスの内容を「現状有姿」のままユーザーに提供します。TRINITY は、本サービスをユーザーに提供するために必要な権利を適法に取得していることを本サービスに関するユーザーへの唯一の保証とし、本サービスの内容に関して、中断されないこと、エラーがないこと、および有害な構成要素がないこと、さらに本データの紛失や損傷に関する安全性について、TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーのいずれも、明示であるか黙示であるかを問わず、いかなる種類の表明も保証も行いません。

2. 責任の限定

TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーのいずれも、いかなる損害（直接、間接、付随的、特別、結果的または懲罰的損害を含み、さらに利益、のれん、使用またはデータの損失による損害も含む。）につき、たとえかかる損害の可能性を通知されていたとしても、ユーザーに対して一切責任を負いません。さらに、TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーのいずれも、以下の事由に関連して生じる填補、償還または損害賠償につき、いかなる責任も負いません。

- a. ユーザーが本サービスを利用できない場合
 - i. 本規約による本サービスへのアクセスもしくは利用の停止
 - ii. AWS による本サービスの一部または全部の中止
 - iii. その理由を問わず（停電、システムの故障その他の障害の結果である場合を含む）本サービスの一部または全部の予期されない、または予定されないダウンタイム
- b. 代替の商品またはサービスの調達費用
- c. 本規約による本サービスの利用もしくはアクセスに関連してユーザーがなした投資、支出または履行約束
- d. 本データまたはその他のデータの不正アクセス、変更、削除、破棄、損害、損失もしくは保存の失敗

第8条（契約期間）

本規約の有効期間は、eSOL TRINITY Cloud 上で利用する TRINITY 製品のライセンス契約の定めに従うものとします。

第9条（本サービスの提供および利用の中止）

1. 各当事者による本サービスの提供および利用の終了

相手方当事者による本規約の重大な不履行または違反があり、違反当事者に対して 30 日前までに通知をしたが、違反当事者が 30 日以内に当該重大な不履行または違反を是正しない場合には、いずれの当事者も本サービスの提供および利用を終了させることができるものとします。

2. TRINITY による権利の停止

TRINITY は、以下の事由に該当すると TRINITY または TRINITY のライセンサーが独自に判断した場合、ユー

ザーに通知し、本サービスの一部または全部につき、ユーザーの権利を直ちに停止することができるものとします。

- a. ユーザーによる本サービスの利用または登録が、
 - i. 本サービスまたは第三者にとってセキュリティ上の危険を呈する場合
 - ii. 本サービスの内容、またはユーザー以外の eSOL TRINITY Cloud の利用者のシステムもしくは本コンテンツに悪影響を及ぼす可能性のある場合
 - iii. TRINITY、TRINITY の関連会社または第三者に責任が生じる可能性のある場合
 - iv. 不正なものである可能性がある場合
- b. ユーザーが本規約に違反している場合
- c. ユーザーが通常の営業を行わなくなった場合、ユーザーの資産を債権者の利益のために譲渡し、もしくは同様の処分を行った場合、またはユーザーが破産、会社更生、清算、解散もしくは同様の手続の対象となった場合

3. TRINITY による本サービス提供の終了

TRINITY は、以下の場合には、ユーザーに対して通知することにより、直ちに本サービスの提供を終了することができるものとします。

- a. ユーザーによる作為または不作為の結果、前項により権利が停止された場合
- b. 本サービスを提供するために TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーが使用するソフトウェアその他の技術を提供している第三者との契約が解除され、または本サービスの一環としてソフトウェアその他の技術を提供する方法を変更する必要があるが生じた場合
- c. 本サービスの提供により、重大な経済的または技術的な負担や、重大なセキュリティの危険が生じると考えられる場合
- d. 法律または政府機関の要請を遵守する必要があるが生じた場合
- e. 本サービスの利用および提供が、法律上、規制上の理由で、非現実的または実行不能であると TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーが判断する場合

なお、上記に該当して本サービスの提供が終了した場合、ユーザーは自己が保有する AWS コンテンツのすべてを直ちに返却するか、TRINITY の指示に従い破棄するものとします。

第 10 条（禁止事項）

ユーザーは本規約により明示的に許可される方法または目的以外には、本サービスを利用することはできません。ユーザーは以下の行為をし、また、以下の行為を試みてはなりません。

- a. 本サービスの内容に含まれるソフトウェアの修正、変更、改竄、修理またはその他の翻案物の作成（提供される本サービスの内容に含まれるソフトウェアが、翻案物の作成を明示的に許可する別個のライセンス契約に基づいてサービス利用者に提供されている場合を除く。）
- b. 本サービスの内容のリバースエンジニアリング、逆アセンブルもしくは逆コンパイル、または本サービスの内容に含まれるソフトウェアのソースコードを引き出すその他の処理もしくは手順を適用すること
- c. 料金の発生を回避するための方法、または使用制限もしくは使用割当を超過する方法等、悪意をもった行為によって、本サービス内容にアクセスし、または使用すること。その他、サービス内容の再販売またはサブライセンスを行うこと

本規約によってユーザーに付与されるすべての権利は、ユーザーが継続して本規約を遵守することが条件であり、本規約の条件を遵守しない場合には、すべての権利は直ちにかつ自動的に停止または終了されます。本規約の適用期間中およびその終了後も、ユーザーは、AWS、AWS の関連会社またはライセンサー、TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーのいずれに対しても、本サービス内容に関して、特許侵害またはその他の知的財産権侵害を主張しないものとし、第三者が主張することを承認、支援または奨励しないものとします。

第 11 条（権利の帰属）

本サービスの内容に関連するすべての権利は、AWS、AWS の関連会社またはライセンサー、および TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーに帰属します。

ユーザーの本データに関しては、ユーザーにすべての権利が帰属し、その利用につきユーザーが単独ですべての責任を負うものとします。

第 12 条（補償）

ユーザーは、以下の事項(これに関連する事項を含む。)について、第三者からの請求により生じる、あらゆる損害、損失、責任、費用および支出(合理的な弁護士費用を含む)につき、AWS、AWS の関連会社またはライセンサー、および TRINITY、TRINITY の関連会社またはライセンサーを防御、補償し、損害を与えないものとします。

- a. 本サービスの利用
- b. 本規約の違反や適用される法律の違反
- c. 本サービスを利用した第三者の権利侵害もしくは不正利用の疑い
- d. 本サービスに関連したユーザーと第三者との紛争

第 13 条（機密保持）

1. ユーザーは、以下の情報を機密情報として扱い、本規約上認められる本サービスの利用に関連してのみ使用することができるものとします。
 - a. 本規約のすべての内容
 - b. 本規約により知り得た情報
 - c. 本サービス
 - d. 本サービスにより知り得た情報
2. ユーザーは、以下の情報に対して機密保持の義務を負わない。
 - a. ユーザーが独自に開発した情報
 - b. 一般に入手できる情報
 - c. TRINITY が、守秘義務を負わせることなく第三者に開示した情報
 - d. TRINITY に公開される前から既に取得しており、かつその既知の証明ができる情報
 - e. 管轄官公庁の要求または法令に基づき開示される情報

第 14 条（準拠法と管轄裁判所）

本規約は、日本国法に準拠しています。また、本規約に関する紛争については、東京地方裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。

第 15 条（特定条項の継続）

理由を問わず本規約による本サービスの提供、利用が終了した場合においても、第 6 条(ユーザーの責任)、第 7 条 (TRINITY の保証および責任の限定)、第 9 条(本サービスの提供および利用の中止)、第 10 条(禁止事項)、第 11 条(権利の帰属)、第 12 条(補償)、第 13 条(機密保持)、第 14 条(準拠法と管轄裁判所)および本条の各事項は、なお有効に存続します。

第 16 条（譲渡の禁止）

本規約および本規約における権利、義務は、他に譲渡することはできません。ただし、ユーザーの組織変更などにより、ユーザーの担当部署に変動を生じた場合には、TRINITY が事前に書面にて承諾した場合に限り、本規約に基づく権利を承継した部署などに、承継させることができます。

第 17 条（国外への持出）

ユーザーは、TRINITY の書面による許諾がない限り、本サービスを以下の国に持ち出してはなりません。

- a. ベルヌ条約に批准、加入していない国
- b. 万国著作権条約に批准、加入していない国
- c. 日本国および米国の輸出入規正法でその輸出が禁止されている国

以上